

しみじみの贈り物

二十四の瞳

忘れもの、見つけた。

田中 裕子

武田 鉄矢

紺野 美沙子

川野 太郎

佐々木すみ江

友里 千賀子

左 時 枝

あき 竹城

鈴木ヒロミツ

浦田 賢一

坂 田 明

音無 真喜子

高木 美保

野 沢 直子

神津 はづき

渡辺 多美子

松村 達雄

乙羽 信子

ナレーション

渥 美 清

製作

山内 静夫

中川 真次

服部 庸一

磯崎 洋三

プロデューサー

元村 武

名島 徹

飯島 敏宏

原作

壺井 栄

脚本

木下 恵介

監督

朝間 義隆

潤色

朝間 義隆

撮影

花田 三史

美術

芳野 尹孝

音楽

三枝 成章

制作

松竹映像株式会社

制作協力

株式会社ヴァンフィル

配給

松竹株式会社





忘れもの、教えてあげる、ムービーです。

かいせつ

ひとは、どのくらい純粋に、ひとを愛することができますのでしょうか。

瀬戸内海の美しい自然を背景に、一人の女教師と12人の教え子たちの心の交流を描いた「二十四の瞳」ほど、多くの日本人の心をとらえた物語はありません。

原作は女流作家、壺井栄のベストセラー小説で、昭和29年に木下恵介の脚本・監督により映画化され、日本中の共感を集めて、驚異的ヒットになりました。

今回の映画化は、絶品と言われる木下脚本を生かして、朝間義隆監督と松竹大船のはえぬきスタッフが全力で挑戦するものです。

朝間監督は「男はつらいよ」シリーズの脚本を山田洋次監督と共同執筆しつづけ、「俺たちの交響楽」「思えば遠くへ来たもんだ」などで定評ある正統派。

主役の大石先生には、若手女優の中でもナンバーワンの演技派、田中裕子。戦前から戦後にわたる女の半生をどう演じるかに、期待が寄せられています。

共演には、武田鉄矢、坂田明、友里千賀子、

紺野美沙子・川野太郎らの実力派俳優が配されるほか、地元、小豆島と東京からオーディションで選ばれた子供たちの個性がきらめいて、作品を盛り上げています。

撮影は、86年7月から約10ヶ月かけて行われ、春夏秋冬の小豆島の美しい景観や瀬戸内海の表情が描かれます。また、地元の全面的な協力を得て、内海町田ノ浦地区の広大な敷地に、昭和初期の分教場、民家などの村落がそのまま再現されました。

87年夏、日本映画界にやさしさの旋風が巻き起こります。



プロダクションノート

●島をあげての映画づくり

今回の映画化にあたっては、地元小豆島の全面協力を得た。まず、15,000平方メートルのオープンセット建設敷地は無償で提供。見物客の整理やセットの管理を手伝っていただけでなく、あるロケ地ではコンクリートの電柱を5本も抜いてくれたり、収穫前のトウモロコシ畑まで撮影スケジュールにあわせて刈り取ってくれた。おかげで撮影はことのほかスムーズに進んだ。

●かわいい主役たち

12人の子供たちは、東京と小豆島との混成部隊だったにもかかわらず、旅館で合宿生活をひいたことも幸いして、それぞれを役名で呼びあうほどの仲良しになった。毎日の現場移動も、まるで遠足気分。ときたま、「セミ取りするから、早く終ろうよ」と、かわいいいわがままもてた。



しみじみの贈り物 二十四の瞳

7月11日(土)全国松竹系公開!!

特別鑑賞券 一般1200円(当日・一般) 学生1000円(当日・学生) 小人800円(当日・小人) 絶賛発売中!

地下鉄東銀座駅下車・松竹セントラル横

銀座松竹 (541) 1786